令和2年度第3回秋田県高齢者対策協議会及び 第3回秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会 会議録

1 会議の日時及び場所

日時 令和3年1月29日（金）午後2時～午後3時10分
場所 アキタパークホテル「ゴールデン」

2 出席者

●秋田県高齢者対策協議会委員（五十音順 敬称略）

石村 照子	公益社団法人認知症の人と家族の会秋田県支部
稲庭 千弥子	秋田県介護老人保健施設連絡協議会
萱森 真雄	秋田県老人福祉施設協議会
佐藤 伸幸	日本労働組合総連合会秋田県連合会
鈴木 博	社会福祉法人秋田県社会福祉協議会
曾根 純之	一般社団法人秋田県医師会
畠山 桂郎	一般社団法人秋田県歯科医師会
古谷 勝	秋田県国民健康保険団体連合会
松田 知己	秋田県町村会

●秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会専門委員（五十音順 敬称略）

佐藤 俊一	一般社団法人秋田県社会福祉士会
津軽 谷 恵	一般社団法人秋田県作業療法士会
福本 雅治	特定非営利活動法人秋田県介護支援専門員協会
藤原 健一	秋田市介護保険課
渡部 幸雄	一般社団法人秋田県介護福祉士会

●秋田県

小柳 公成	秋田県健康福祉部次長
高橋 直樹	秋田県健康福祉部長寿社会課長
渡部 裕樹	秋田県健康福祉部長寿社会課調整・長寿福祉・施設班 主幹(兼)班長
中村 康二	秋田県健康福祉部長寿社会課介護保険班 副主幹(兼)班長
古井 正賢	秋田県健康福祉部長寿社会課介護人材対策班 主幹(兼)班長

地域・家庭福祉課、長寿社会課国保・医療指導室、健康づくり推進課
事務局（秋田県健康福祉部長寿社会課）

3 議題

○秋田県第8期介護保険事業支援計画・第9期老人福祉計画（案）について

（1）秋田県第8期介護保険事業支援計画・第9期老人福祉計画（素案）に対する意見募集の結果について

事務局 （中村副主幹 （兼）班長）	（資料1説明）
稲庭委員	<p>秋田県介護老人保健施設連絡協議会の会員から計画（案）に関して出された意見について述べさせていただきたい。</p> <p>老人保健施設における介護については、介護職のみで成り立つものではなく、看護職、給食関係者、ケアマネジャー、リハビリ専門職等が関わっている。これを踏まえ、特に県南・県北地区の施設から、介護職及び看護職が不足していることに係る計画への記載内容に強い要望があった。地域包括ケアシステムと同様に介護は様々な専門職が協力して行うものであるにもかかわらず、計画においては、看護職、ケアマネジャー及びリハビリ専門職等に言及されている箇所はあるものの、全体として記載内容がほぼ介護職に限られている。介護の現場でいかに困っているかということについて御理解いただき、計画に記載していただきたい。</p> <p>具体的には、一点目として看護職員について、85頁に「養给力強化や離職防止の取組を推進」と記載されている点であるが、介護の現場では、特に県南地区において外国人従事者が増加しており、また、中央地区においても様々な問題も生じてきていることから、今後力を入れていく点は「養给力強化や離職防止の取組の推進」ではなく、看護職員が不足している現状を踏まえて確保していくといった記載とすべきではないか。</p> <p>二点目として、県内における外国人介護従事者について、86頁に「県内における外国人介護従事者は～増加傾向にあります」と記載されている点であるが、国が在留資格「特定技能」制度を創設したことに伴い、介護分野における外国人材の受入拡大が見込まれている。現状は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内で従事する予定の方の入国が滞っているものの、今後、外国人が百人単位で県内で従事する見込となっている。つまり、現実を鑑みると、単に「増加傾向」ではなく、「急激な増加傾向」もしくは「大きく増加傾向」といったような表現が適切ではないか。</p> <p>三点目として、第6章は「介護人材の確保・育成」と称していることから、86頁の「2 外国人介護人材の受入環境整備」においては、介護に携わっている専門職全体に係る外国人材について記載する必要があると思われる。看護職に関しては、由利本荘医師会立由利本荘看護学</p>

	<p>校や秋田しらかみ看護学院において、既に中国人を入学させているなど、この少子化の中、介護職以外にも外国人材の受入が進んでいることを県や県民に受け止めていただきたい。介護現場における人材が不足していることを汲んでいただき、86頁の最後に「介護人材、介護士、理学療法士、作業療法士の育成・確保と定着を支援します」と記載していただきたい。</p> <p>四点目として、関連して88頁の3つ目のポツに看護職員の資質の向上を図る旨の記載があるが、不足している現実を鑑み、人材の確保と育成が必要である旨も記載していただきたい。また、5つ目のポツには、併せて保健師・看護師も記載していただき、人材の確保・育成を支援する旨を記載していただきたい。</p> <p>これまで述べたことは、私個人の意見ではなく、秋田県介護老人保健施設連絡協議会全体の意見であることから、ぜひ記載をお願いしたい。</p>
<p>事務局 (古井主幹 (兼) 班長)</p>	<p>介護職員以外の看護職員等専門職の方々について、その人材が不足している状況は私どもも十分把握しており、85頁に看護職員の確保策を記載したところである。稲庭委員から御指摘があったように、不足している看護職員を確保していく点について、素案では「養成促進と離職防止の取組を継続する」と記載していたところ、この表現では若干弱いと判断し、今回の(案)では、医療人材対策室の協力も得て「養给力強化や離職防止等の確保対策を一層推進」と記載内容を修正し、強めの表現としたところである。</p> <p>また、第6章全体の構成上、「多様な人材の参入促進」、「外国人介護人材の受入環境整備」及び「介護人材の資質の向上」については、同じレベルの項立てとなっており、新たな人材の確保対策については、全てまとめて84頁から85頁の「1 多様な人材の参入促進」に記載していることから、「外国人介護人材の受入環境整備」及び「介護人材の資質の向上」に同様の内容を重複して記載することはなじまないものと思われる。</p> <p>また、県内における外国人介護従事者数については、厚生労働省から令和2年10月末現在の数字が公表されていないことから、現時点ではこのような表現としている。公表された後に表現を修正することとしており、私どももEPAや技能実習制度による受入人数についてはある程度把握しており、統計資料として公表された際には「急増」といった表現とさせていただきたいと考えているので、御了承いただけないか。</p>
<p>稲庭委員</p>	<p>外国人介護従事者数に係る記載については、「急増」といった表現に固執するものではないが、現実には単に「増加傾向にある」のではなく、新型コロナウイルス感染症の影響により、足止めされている方が何百人という事実を受け止めていただきたく、可能であれば表現を修正していただきたい。</p> <p>また、85頁の「養给力強化と離職防止」であるが、看護職員につい</p>

	<p>ては、現在も県外から学生を受け入れているとともに、外国人材も含め、秋田県の高齢社会を支えるために、あらゆる手段を講じていることを県や県民に御理解いただき、応援していただきたいという思いであり、「養成力強化」ではない。</p> <p>さらに、人材確保については、具体的な記載が難しいと思われるので、県には少なくとも現状を御理解いただき、人材の育成・確保を支援する旨を記載していただけないか。</p>
事務局 (古井主幹 (兼) 班長)	<p>介護人材の確保対策については、「多様な人材の参入促進」、「外国人介護人材の受入環境整備」及び「介護人材の資質の向上」の各項目において、ほぼ同様の文言を記載することは、本計画の構成上、分かりづらくなるとともに焦点がぼやけてしまうことから、「多様な人材の参入促進」の項にまとめて記載したところである。</p> <p>なお、看護職員の養成力強化に係る記載内容については、医療人材対策室と再度調整させていただきたい。</p>
稲庭委員	<p>看護職員については、養成力強化ではなく県外からの人材を確保することを応援・強化していただきたい。</p> <p>また、介護人材の確保対策については、本来、具体的な取組を記載していただきたいところであるが、記載が難しそうであるため、せめて各項目の末尾に育成・確保を支援する旨を記載していただきたいということが、秋田県介護老人保健施設連絡協議会会員の意見である。</p>
事務局 (高橋長寿社 会課長)	<p>稲庭委員から頂いた御意見については、先ほど担当班長からもお伝えしたとおり、一旦保留させていただき、再度こちらで記載内容について検討させていただけないか。その上で、修正内容について、稲庭委員にも御確認いただき、最終的な成案とさせていただきたいので、少々時間を頂きたい。</p>
曾根会長	稲庭委員、よろしいか。
稲庭委員	はい。

(2) 素案からの変更点、目標値等について

事務局 (中村副主幹 (兼) 班長)	(資料 2 及び資料 3 説明)
稲庭委員	<p>98 頁から 99 頁に記載されている、たんの吸引等の医療行為及びユニットケアの推進に関し、お詫びと今後の見込についてお伝えしたい。</p> <p>はじめに、ユニットケアの推進について、ユニットケアに関しては「全国個室ユニット型施設推進協議会」という組織があり、当法人の施設である「特別養護老人ホーム飯島」が唯一県内で同協議会の会員となっている。数年前から、私が同協議会の秋田県支部長を務めており、昨年、「ユニットケア施設管理者研修」及び「ユニットリーダー研修」の実地研修を引き受ける予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響</p>

	<p>により、実施できなかつたことをお詫びしたい。なお、来年度は実地研修を引き受ける予定であるので、御了承いただきたい。</p> <p>つぎに、たんの吸引等の医療行為については、秋田県介護老人保健施設連絡協議会、秋田県老人福祉施設協議会、小規模な介護サービス事業所等も含め要望が強く、一定の医療行為を行うことができる介護職員等を多く養成する予定としていたが、こちらも新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおり実施できなかつたことについてお詫びしたい。来年度は、一定の医療行為を行う介護職員等を養成する研修を計画どおり実施することとしたい。</p>
曾根会長	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により研修等が実施できなかつたことはやむを得ないものと思われる。</p>
松田委員	<p>この計画自体は全体としてよく練られてると思う。</p> <p>はじめに、85 頁に関して、介護人材の確保・定着が必要であることは、これまでもそして将来も課題として背負うものだと思う。六郷高校では、県立高校で唯一福祉科を設置しているが、残念ながら生徒数が定員に至っていない。介護人材については、稲庭委員が言われたように県外から連れてくるという考えもあるが、県内で育てるという観点から「今後の取組」において、県立高校福祉科の入学定員充足率を上げるための何らかの施策を講じる等を記載してもよいのではないかと。</p> <p>つぎに、資料 3 の計画の概要版について、一つ一つの内容はそのとおりだと思うが、概要版と計画本体との紐付けが意外と分かりづらい。つまり、概要版で記載されている文言が、計画本体のどこに記載されているか探しづらく、記載されていないこともある。また、計画の目標について説明があつたが、基本目標がいわば将来の望ましい姿、それを達成するために施策があり、その施策の内容が成果指標と業績指標となっているが、計画本体においても成果指標及び業績指標に多少とも触れたほうがよいのではないかと。そうしないと主要事業との関連性を見出すことが難しいと思う。また、計画と概要版の言葉や表現、指標の捉え方についても、今一度整理されたほうがよいのではないかと。たとえば、施策の柱として「介護保険制度の安定性、持続可能性の確保」があるが、それに対する成果指標の内容についてはそのとおりだと思う一方、業績指標として設定されている「たん吸引等ができる職員数」について、なぜ介護保険制度の安定性と持続可能性の確保に繋がるのかという説明が不足している。</p>
事務局 (古井主幹 (兼) 班長)	<p>85 頁に介護福祉士修学資金等貸付事業について記載しているが、国の新規メニューにおいて高校生向けが拡充される旨の情報を得ているところであり、介護福祉士養成課程に進学しやすいような何らかの周知等も含め、記載内容を修正したいと考えている。</p>
事務局 (中村副主幹)	<p>現行の 7 期計画は、今後の取組と目標値をセットで記載する構成であつたが、8 期計画においては、取組の目標値を達成すること自体が目的</p>

(兼) 班長)	<p>化しないように、より高い目標を設定することによって、その事業の目的を明確に意識することも重要と考え、施策の柱ごとに成果指標を設定したところである。</p> <p>しかしながら、松田委員の御指摘のように、指標と計画に掲げている取り組みとの結びつきがやや分かりづらくなると私自身も感じており、これらの結びつきが分かりやすくなるように記載方法を工夫したい。</p>
曾根会長	<p>業績指標のうち、保険者機能強化推進交付金の評価指標について、秋田県の現状値が全国平均を大きく下回っている要因は何か。</p>
事務局 (中村副主幹 (兼) 班長)	<p>人力的な問題等もあり、なかなか幅広く事業を実施できない状況にある一方、指標によっては少し工夫することによって、点数を上げることも可能なものもある。まずはできるところから着手し、点数を少しでも上げることにより、交付金をより多く得て、さらに事業を実施するという好循環に入っていけるかと思うので、そのように進めていきたいと考えている。</p>
曾根会長	<p>他に御意見がなければ、本日、委員の皆様からいただいた御意見については、計画に反映させる方向で検討していただき、また、稲庭委員からいただいた御意見については、しっかり対応していただきたいと思う。</p> <p>その他の軽微な修正がある場合は、私に一任させていただいてよろしいか。</p>
事務局 (高橋長寿社会課長)	<p>本日は貴重な御意見ありがとうございました。</p> <p>先ほども述べたが、本日頂いた御意見をもとに文言等について修正を行ってまいりたい。</p> <p>今回、お示しした計画案については、2月県議会においても御審議いただくことになっており、これを経て最終的な計画を作り上げていくという作業となる。その際には、曾根会長に確認しながら進めていくこととしたい。</p>
曾根会長	<p>三回にわたり皆様から御意見をいただき、第8期介護保険事業支援計画・第9期老人福祉計画がほぼ完成したと思う。この場を借りて、皆様には深く感謝申し上げます。</p> <p>これをもって議事を終了する。</p>
事務局 (渡部主幹 (兼) 班長)	<p>委員の皆様には貴重な御意見をいただき、また、今年度三回にわたる会議において、熱心にご審議いただき厚く御礼申し上げます。</p> <p>以上をもって、令和2年度第3回秋田県高齢者対策協議会及び第3回秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会を閉会する。</p>